

大和北道路有識者委員会 設立趣旨

京奈和自動車道は、大和平野を南北に縦貫し、京都市と和歌山市を結ぶ高規格幹線道路であり、高速自動車国道及び主要国道等を連携することにより、広域的なネットワークを形成し、地域間の連携強化を図るとともに、国道24号の渋滞緩和、交通事故の減少等に寄与する重要な道路である。

現在、京都府域の京奈道路は供用中で、奈良県域の西名阪自動車道以南及び和歌山県域については事業中であり、当該計画区間のみ基本計画さえ決定されていない状況である。このため、大和北道路の基本計画を早期に決定し、京奈和自動車道の全線の早期完成を望む声が強くなっている。

しかし、当該計画区間においては、世界文化遺産の「平城宮跡」をはじめ、きわめて重要な文化財が豊富に存在する地域や、住宅が密集する地域があり、基本計画の決定にあたっては、これらの地域特性に配慮するとともに、幅広く数多くの方々や、地元自治体等の意向を十分に把握することも求められている。

このようなことから、基本計画の決定にむけて、PIプロセスを導入し、検討過程における透明性、客観性、公正さの確保を図ることを目的として、第三者機関として有識者委員会を設置するものである。